

2024年3月期 連結決算説明会

2024年5月22日



株式会社 シード



証券コード
7743

1. 2024年3月期 決算概要
2. 2024年3月期 トピックス
3. 2025年3月期 見通し
4. 参考資料

- 1. 2024年3月期 決算概要**
2. 2024年3月期 トピックス
3. 2025年3月期 見通し
4. 参考資料

国内

- ライフスタイルの変化に伴う近視人口の増加と社会経済活動の正常化による装用機会の増加により需要が増大
- 1日使い捨てタイプへのシフトが継続していることやミドルエイジ以降の遠近両用コンタクトレンズの伸長、さらにオルソケラトロジーレンズの普及により市場が拡大

海外

- 国や地域により強弱がある中、コンタクトレンズの需要拡大と近視の低年齢化による近視人口の増加により、市場全体は拡大

〈今後の戦略〉

- 鴻巣研究所における設備投資によって、売上拡大の足枷となりうる商品供給力の不足を補うため、安定した商品供給と市場競争力を高める新商品の量産体制を整備し、生産力の抜本的引上げを行う
- 主力商品の「シード1dayPureシリーズ」に対する需要の高まりを背景に、乱視、遠近両用コンタクトレンズといったスペシャリティレンズの販売を伸ばし、シリコンハイドロゲルレンズやサークル・カラーコンタクトレンズ、オルソケラトロジーレンズの普及拡大により更なる売上創出を目指す

2024年3月期 連結決算ハイライト

連結	[百万円] 百万円未満切捨て		2024/3期	前期増減額	前年同期比	2024/3期 通期見通し (2024年5月7日公表値)
	2022/3期	2023/3期				
売上高	28,835	30,593	32,396	+1,802	+5.9%	32,300
営業利益	1,177	629	2,050	+1,420	+225.5%	2,030
(営業利益率)	(4.1%)	(2.1%)	(6.3%)	—	(+4.2%)	(5.8%)
経常利益	1,138	554	2,059	+1,504	+271.5%	2,030
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,153	△316	1,964	+2,280	—	1,940

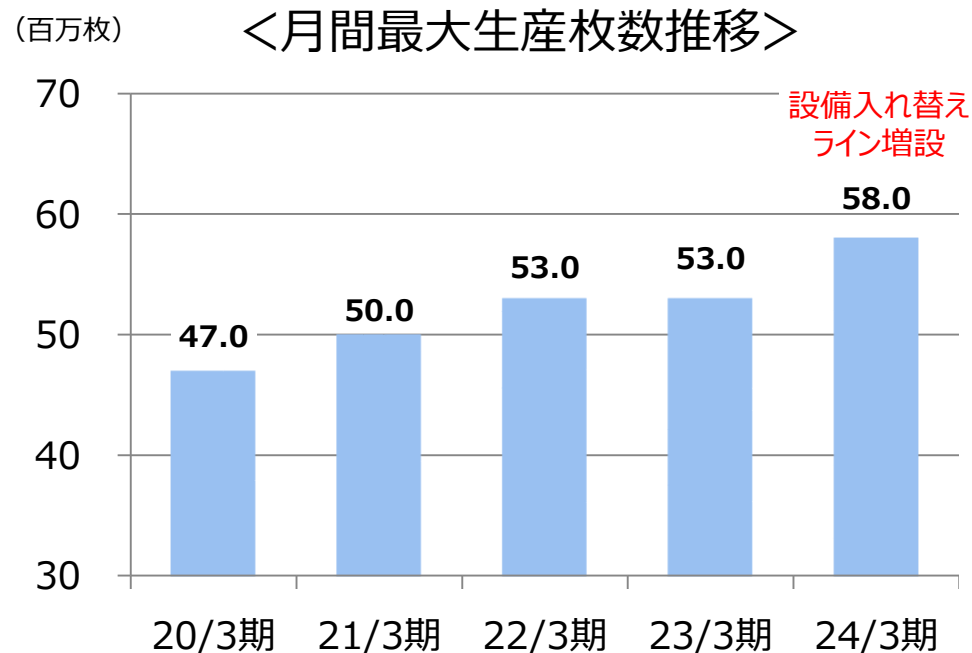
売上高	国内外のコンタクトレンズ販売が伸長したことにより前年同期比5.9%増
営業利益	売上高増加及び生産数量の増加に伴う量産効果が出て原価率低減が実現、円安による輸出の採算良化と国内での価格改定が寄与し、前年同期比225.5%増
親会社株主に 帰属する 当期純利益	課税金額が押し下げられたことにより増加 (ドイツ子会社の合理化に伴う繰延税金資産を計上、2024年3月期末時点における留保金課税対象外、各種の税制優遇制度への適用)

- 2024年2月19日の取締役会にて決議した公募による新株式発行(一般募集)及び株式の売出し(オーバーアロットメントによる売出し)により33.8億円を調達
- 自己資本比率が増加したことにより、財務の安定化が図れた

	発行済株式数	資本金	自己資本比率
増資前 (2023年3月31日時点)	25,033,422株	1,841百万円	29.6%
増資後 (2024年3月31日時点)	30,265,922株	3,532百万円	35.0%

増資を行った背景①

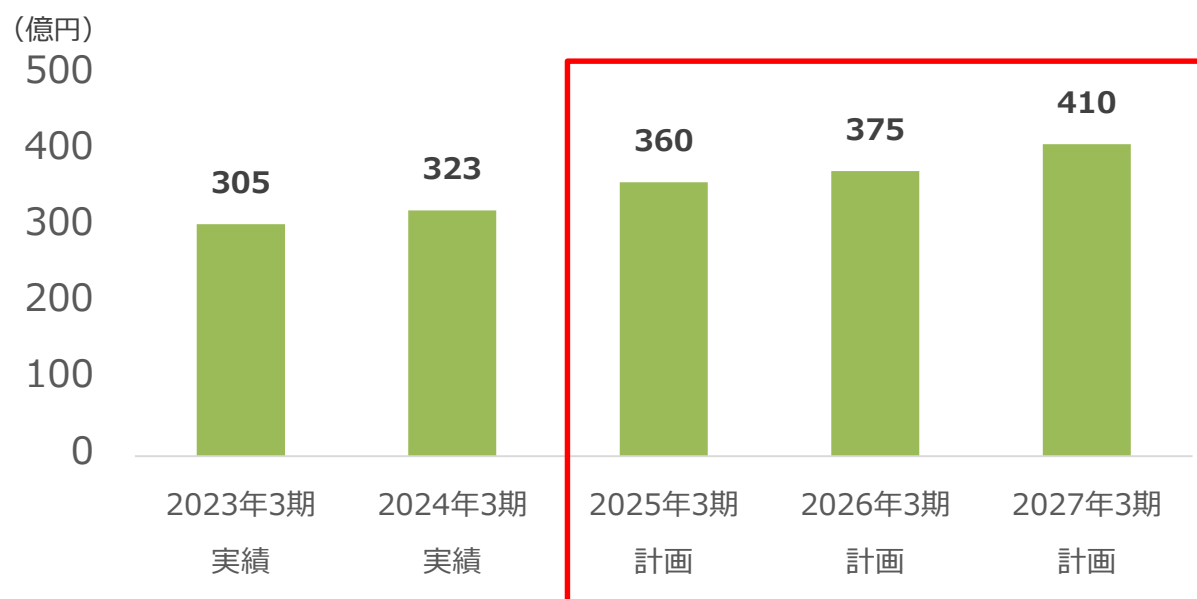
- 想定を上回るコンタクトレンズの需要の高まりや他社の製品の供給不足により鴻巣研究所の生産量を上回る需要が発生
- 近視人口の増加等により国内外において市場は今後もゆるやかながらも成長が見込まれている
- 2024年3月期において設備の入れ替え・ラインの増設により生産枚数は増えたが、2023年8月に発生したPureシリーズの乱視・遠近両用の一部商品における納期遅延が現在も継続している



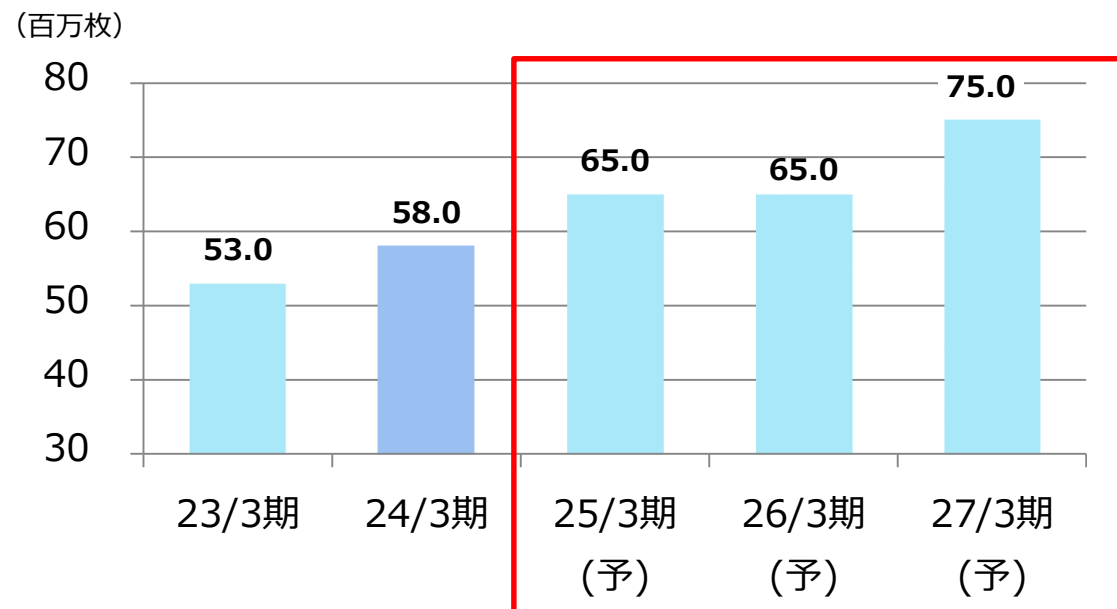
市場の拡大を背景に、売上高は順調に推移している一方で、直近の最大生産枚数は横ばいが続いていた

- 今後の売上拡大の足枷となりうる商品供給力の不足を解消し、安定した商品供給と市場競争を高める
新商品の量産体制を整備するため生産力の抜本的引き上げを行う
- 今回の調達した資金33.8億円のうち約10億円については、鴻巣研究所の2号棟別館(2024年4月30日竣工)の建設資金、残りの資金については計画している4号棟の建設資金等の一部に充当する

<【連結】売上高実績及び中期経営計画における目標>



<月間最大生産枚数推移及び計画>



事業別売上高

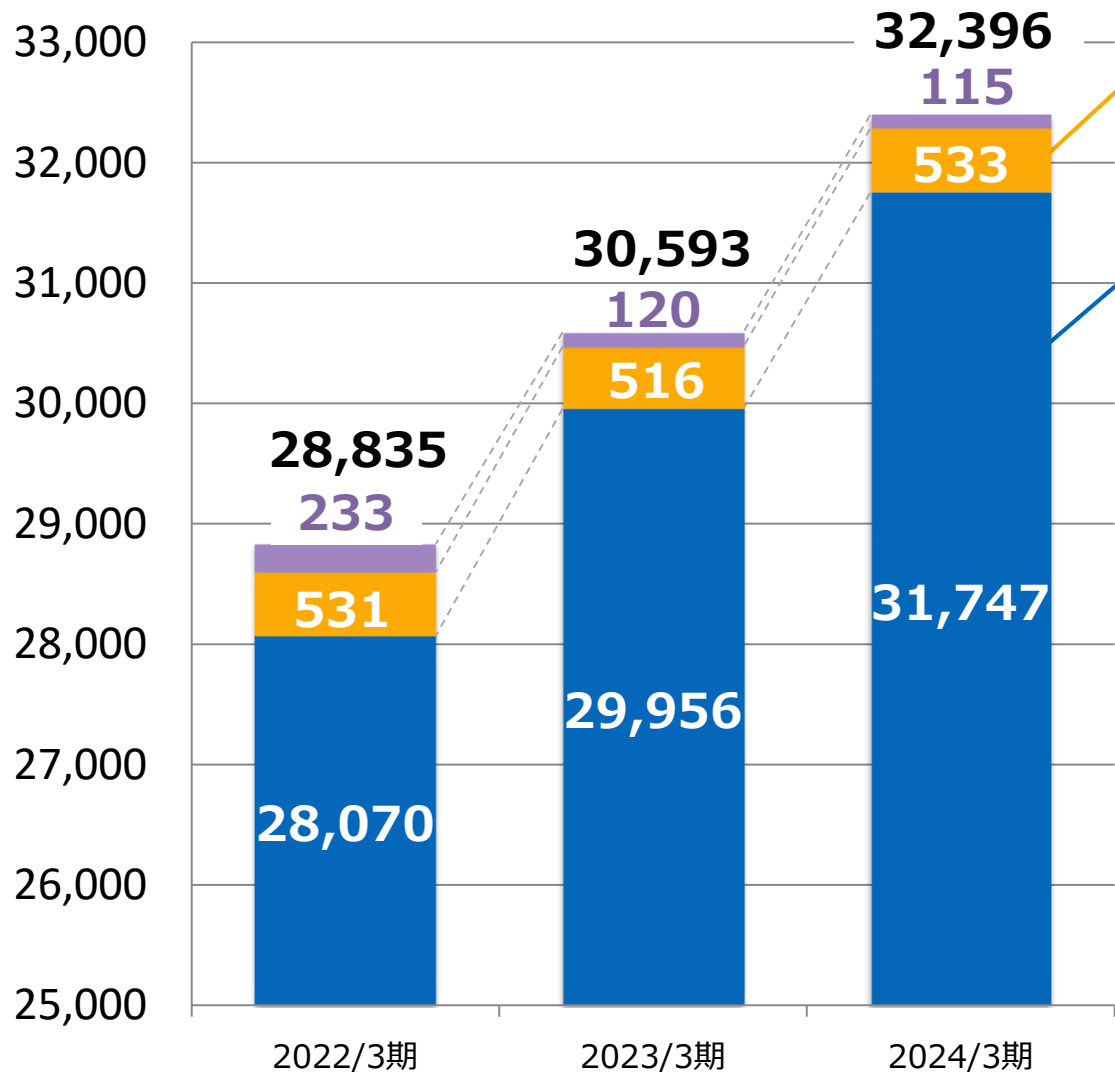
連結

※コンタクトレンズ：光学器械含む ※その他：眼内レンズ・眼鏡事業含む

[百万円]

百万円未満切捨て

■コンタクトレンズ ■ケア用品 ■その他



ケア用品

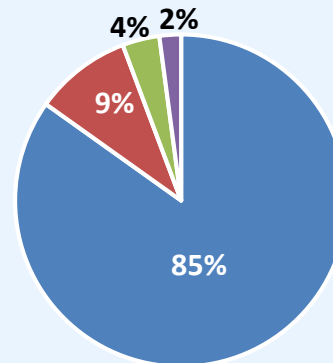
✓ 「オルソケラトロジーレンズ」関連のケア用品が増加したことにより前年同期比3.3%増

コンタクトレンズ

✓ 「ワンデーピュアシリーズ」の需要増等により前年同期比6.0%増

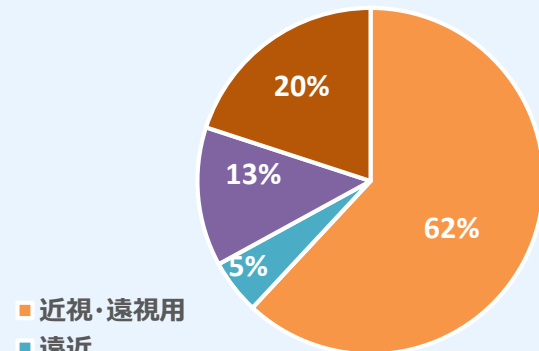
単体

売上高CLカテゴリー比率



■ 1day
■ 2week
■ コンベンショナルレンズ
■ オルソ

売上高1dayカテゴリー比率



■ 近視・遠視用
■ 遠近
■ 乱視
■ サークル・カラー

カテゴリー別対前期増減比率（単体卸売ベース）

ワンデーピュア	5.8%増	2ウィークピュア	0.3%増
ワンデーファイン	34.5%増	サークル・カラー	0.5%増
オルソケラトロジー	14.6%増	遠近両用	15.0%増

※ワンデーファイン以外はシリーズ合計

※遠近両用は使い捨てとコンベンショナル合計（東レ製品は除く）

コンタクトレンズ事業売上高 四半期推移

連結

◇卸売りベース

[百万円]

百万円未満切捨て

1 Q

2 Q

3 Q

4 Q

◆ 四半期平均売上高

10,000

5,000

0

2022/3期

2023/3期

2024/3期

7,017

7,489

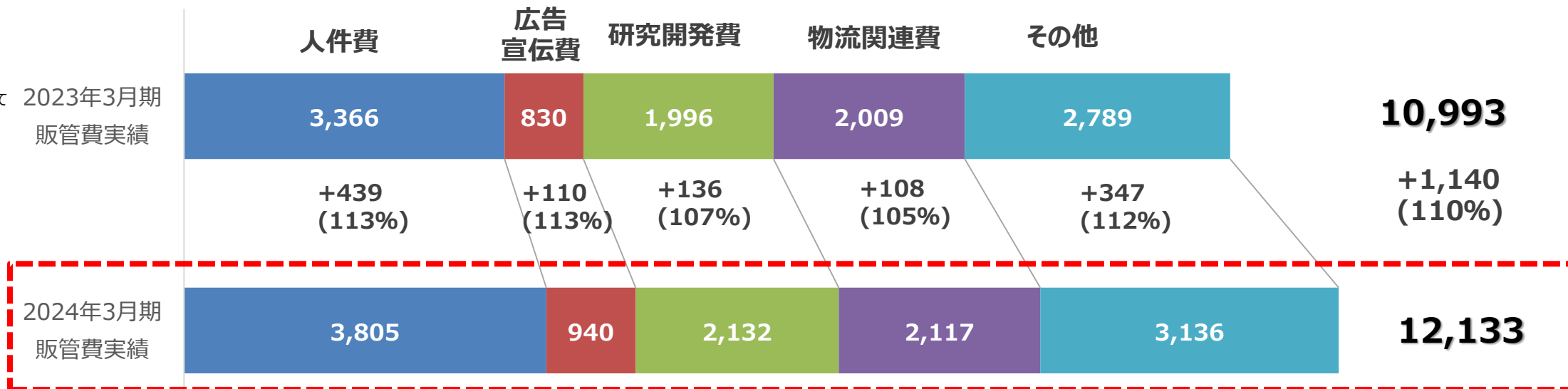
7,936

販管費の状況

連結

[百万円]

百万円未満切捨て



- 人件費 : 人員の増加・給与改定を行ったことにより、前年同期比で増加
- 広告宣伝費 : 売上高増加に伴い、前年同期比で増加
- 研究開発費 : 新規シリコンハイドロゲルレンズに係る治験関係費用、DDSコンタクトレンズの治験関係費用、スマートコンタクトレンズの開発費用により増加
- 物流関連費 : 国内における輸送費の値上げ、海外への輸送機会が増えたことにより、前年同期比で増加
- その他 : 基幹システム更新関連費用や情報セキュリティ関連費用の増加
ブランド戦略・企業価値向上のためのコーポレートブランディングに関する費用の発生

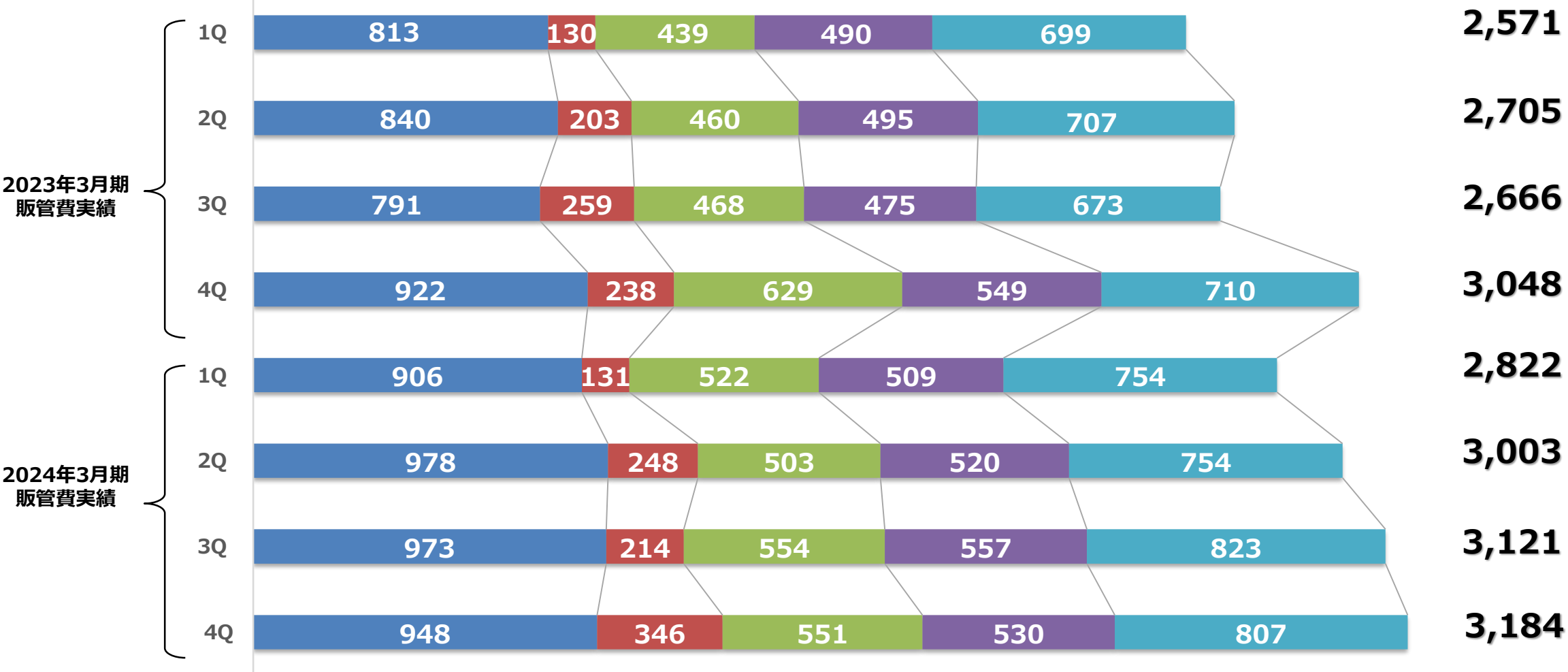
参考資料：販管費の状況

連結

[百万円]

百万円未満切捨て

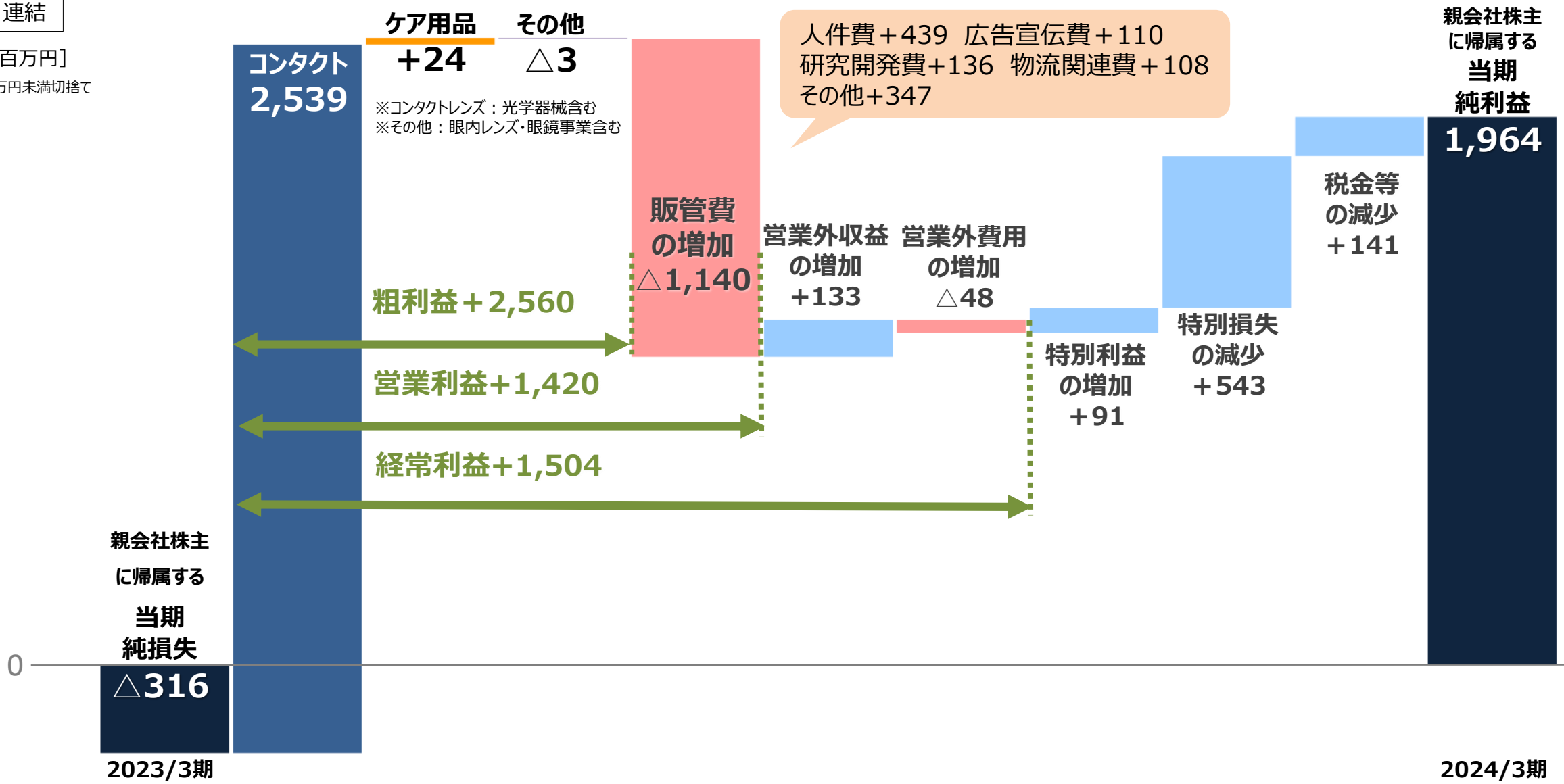
人件費 広告
宣伝費 研究
開発費 物流関連費 その他



利益増減分析

連結

[百万円]
百万円未満切捨て



財務状況推移

連結

[百万円]
百万円未満切捨て

	2023/3月末		2024/3月末		前期比較
	金額	構成比	金額	構成比	
資産の部計	40,011	100.0	49,574	100.0	9,563
流動資産	17,619	44.0	22,322	45.0	4,703
内 現預金	4,938	12.3	9,889	19.9	4,950
商品及び製品	5,476	13.7	4,776	9.6	△ 700
貸倒引当金	△ 25		△ 24		0
固定資産	22,392	56.0	27,252	55.0	4,860
内 有形固定資産	19,173	47.9	23,989	48.4	4,816
無形固定資産	1,202	3.0	1,042	2.1	△ 160
負債の部計	27,865	69.6	31,923	64.4	4,058
流動負債	17,323	43.3	19,566	39.5	2,242
内 短期借入金	12,608	31.5	13,498	27.2	889
短期リース債務	1,025	2.6	1,410	2.8	385
固定負債	10,542	26.3	12,357	24.9	1,815
内 長期借入金	5,040	12.6	4,893	9.9	△ 146
長期リース債務	2,215	5.5	4,380	8.8	2,165
純資産の部計	12,145	30.4	17,650	35.6	5,505
負債・純資産計	40,011	100.0	49,574	100.0	9,563

売上増加、増資に伴い増加

増資による調達資金は順当する
時期まで適切に管理

生産量を超える出荷により減少

鴻巣研究所の新規製造設備
の増設、3号棟底地購入
及び本社新社屋関係の投資

新本社建設資金 着手金借入

鴻巣研究所の新規製造設備
の増設に伴う増加

キャッシュ・フロー | 主要項目

連結

[百万円]

百万円未満切捨て

	2023/3期	2024/3期	前期比較
営業活動によるC・F	3,346	6,023	2,676
内 税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失	△ 57	2,081	2,139
減価償却費	2,584	2,766	181
棚卸資産の増減額 (△は増加)	500	664	163
仕入債務の増減額 (△は減少)	90	46	△ 43
投資活動によるC・F	△ 440	△ 3,763	△ 3,322
有形固定資産取得	△ 447	△ 3,806	△ 3,359
無形固定資産の取得	△ 19	△ 25	△ 5
投資有価証券の売却による収入	-	105	105
事業譲渡による収入	150	-	△ 150
有形固定資産の除却による支出	△ 92	-	92
関係会社株式の取得による支出	-	△10	△ 10
財務活動によるC・F	△ 1,818	2,644	4,463
内 短期借入金の純増減額	1,089	995	△ 93
長期借入金の借入	504	1,878	1,373
長期借入金の返済	△ 2,261	△2,183	78
株式の発行による収入	-	3,360	3,360
リース債務の返済による支出	△ 946	△1,086	△ 139
現金及び現金同等物 期末残高	4,938	9,852	4,913

営業活動によるC・F：既往ピーク

売上高の増加及び製造原価低減による粗利益の増加に伴い、営業利益が増加

製品在庫の減少により増加

・鴻巣研究所の新規製造設備増設
・本社新社屋関係の取得に12億円
・3号棟底地+4号棟用地購入に16億円

2023/3期1Q
(株)シードアイサービス
一部店舗譲渡

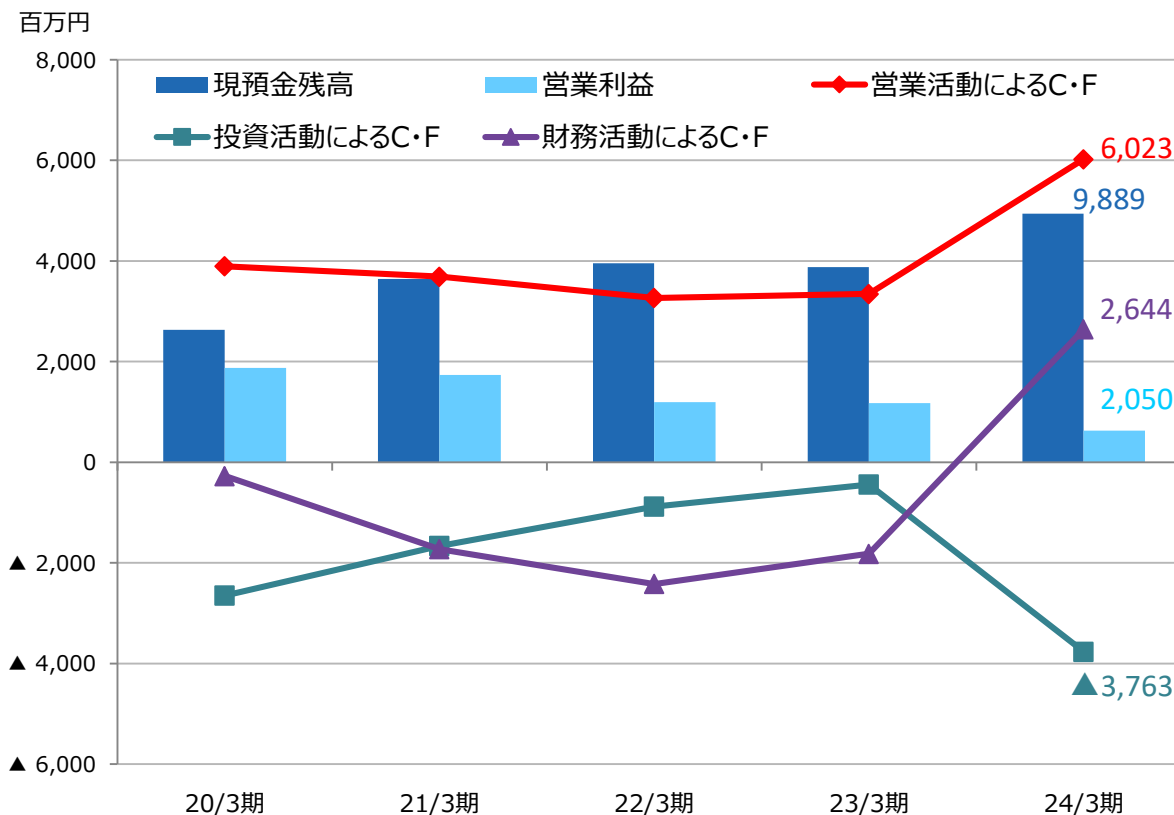
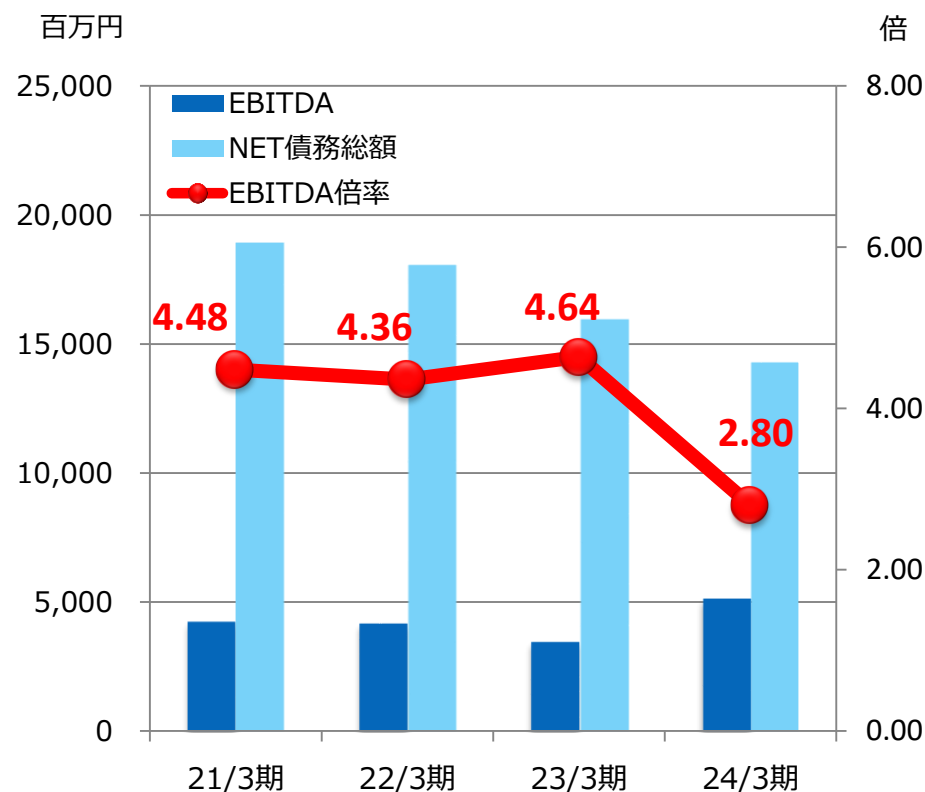
新本社関係資金として12億円

キャッシュ・フロー：関連指標推移

連結

[百万円] 百万円未満切捨て

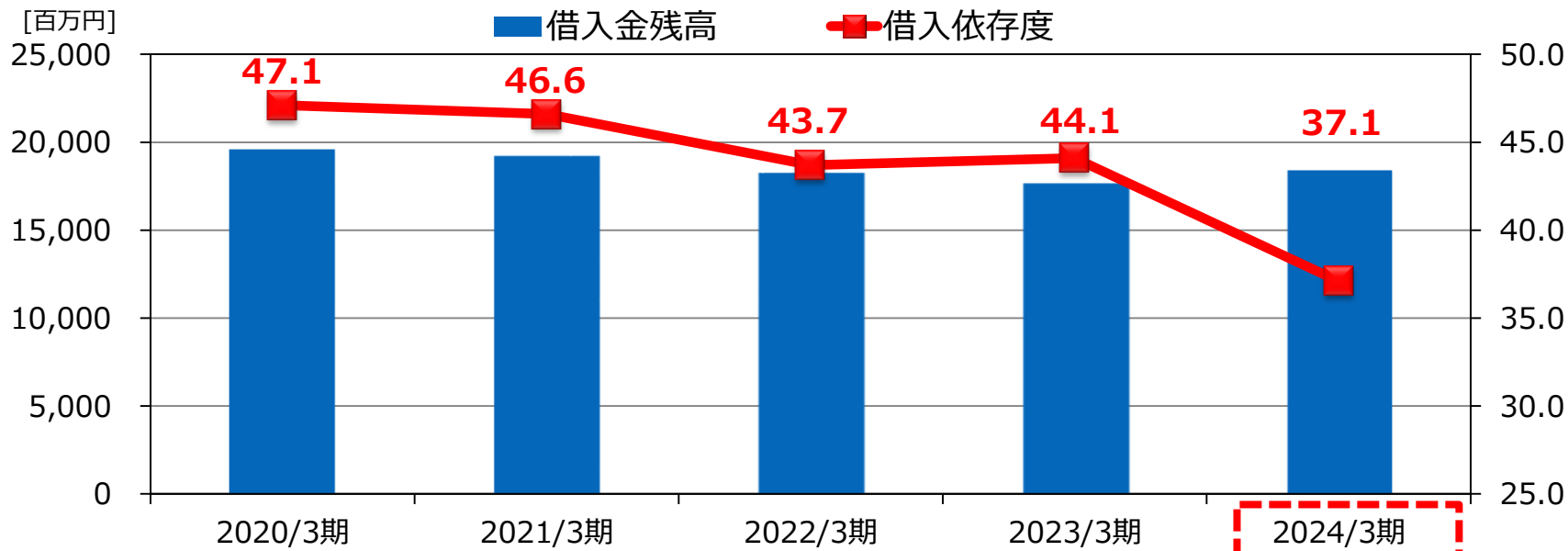
	2021/3期	2022/3期	2023/3期	2024/3期
EBITDA	4,218	4,140	3,438	5,102
EBITDAマージン EBITDA÷売上高	14.7%	14.4%	11.2%	15.8%



◇EBITDA=経常利益+減価償却費+のれん償却+支払利息 ※NET債務総額=有利子負債+リース債務-現預金

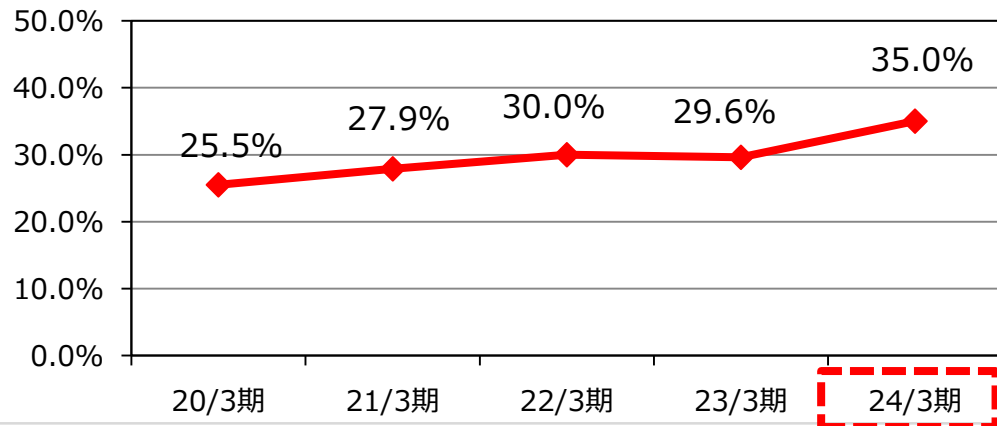
連結

◆借入金の推移

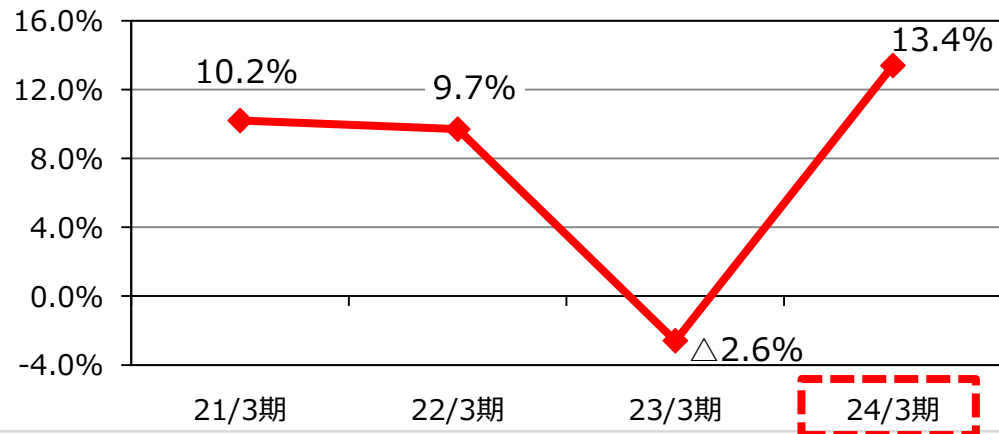


※借入依存度 = 有利子負債 / 総資産

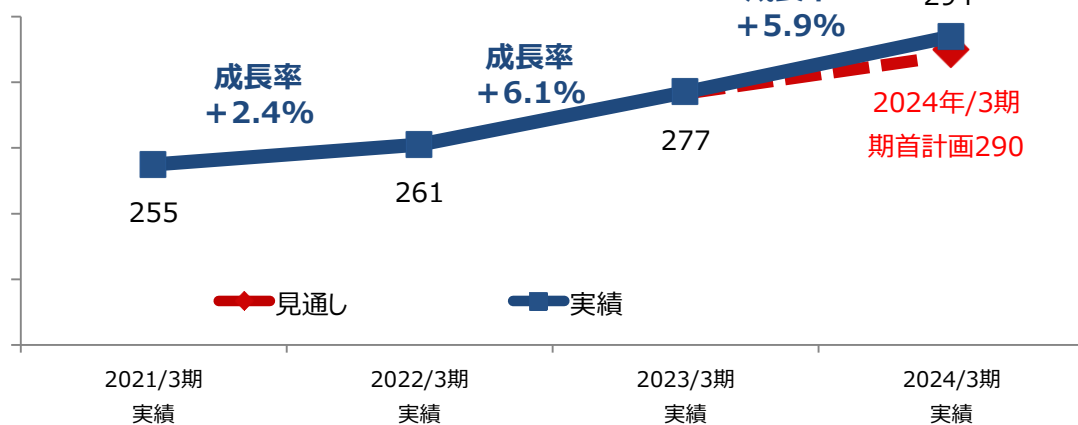
◆自己資本比率



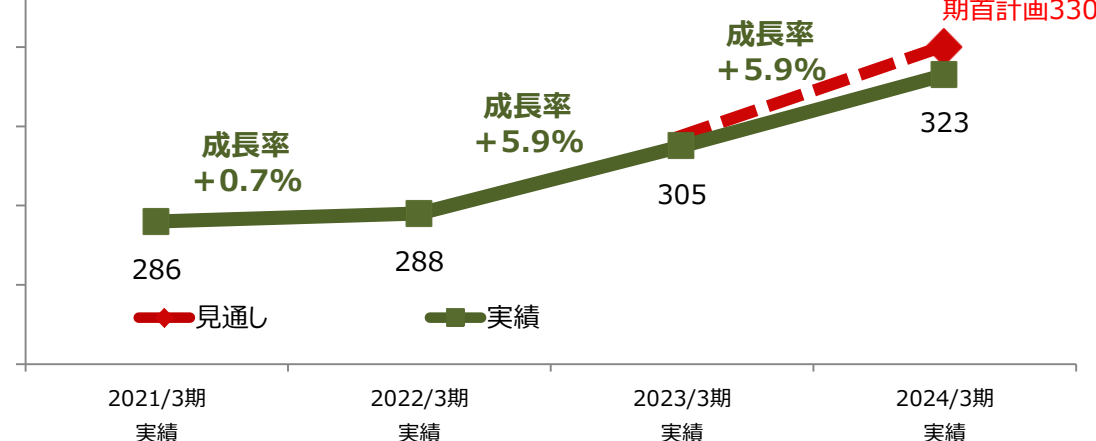
◆自己資本当期純利益率(ROE)



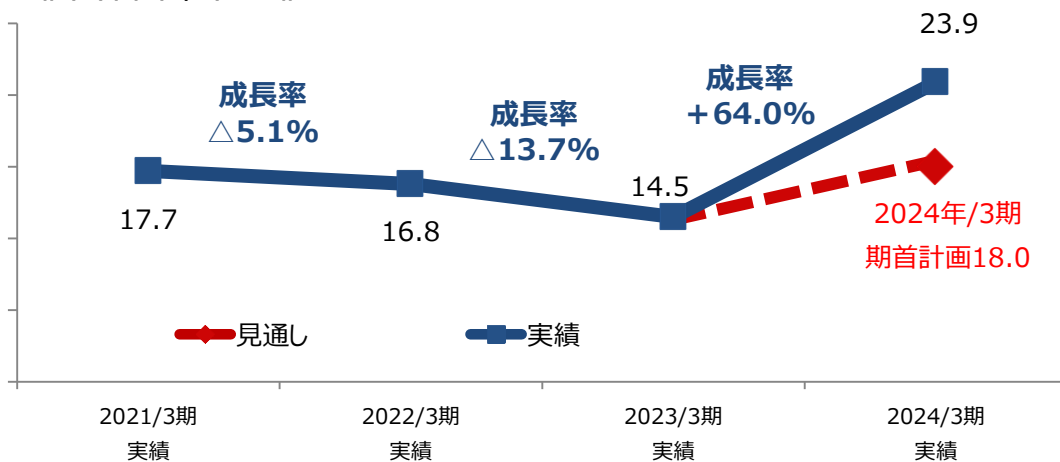
《単体売上高》(億円)



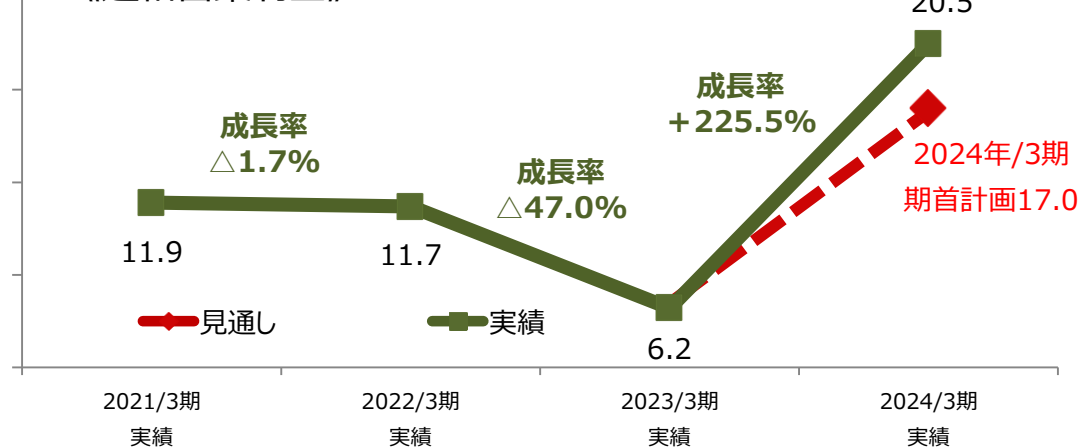
《連結売上高》(億円)



《単体営業利益》(億円)



《連結営業利益》(億円)



- ✓ ● 2024年3期は国内のコンタクトレンズ販売が伸長し、業績はおおむね予想どおりとなった。
- ✓ ● 売上高増加及び生産数量の増加に伴う量産効果による原価率低減が実現、さらに2023年3月期第2四半期以降からの価格改定により、営業利益が増加した。

Made in Nippon Japan Qualityを世界へ

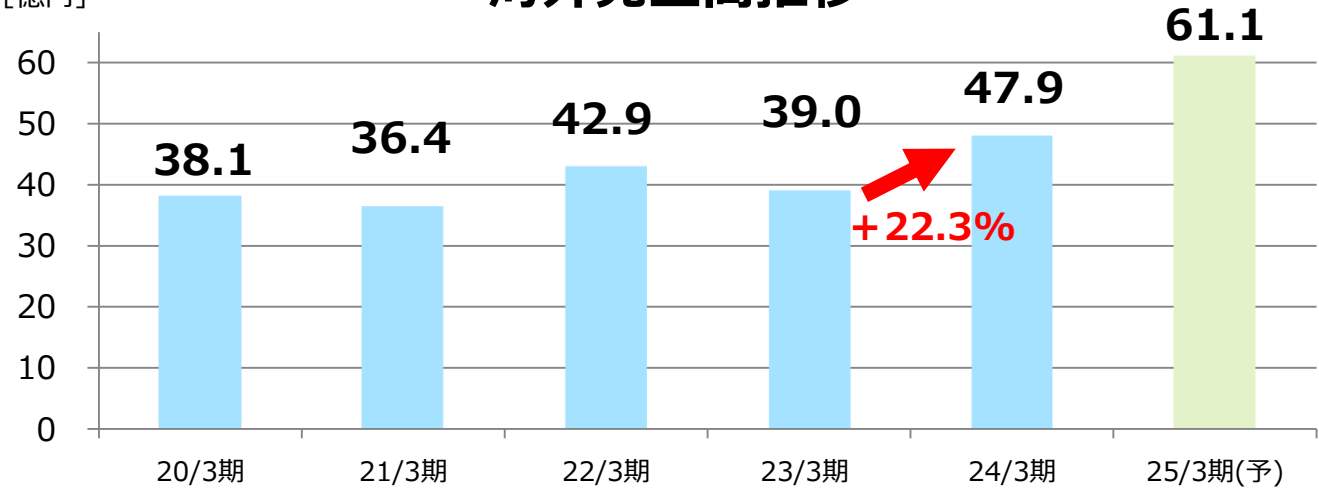
アジア地域、ヨーロッパ地域を中心に
50以上の国と地域に展開中

主な海外商品



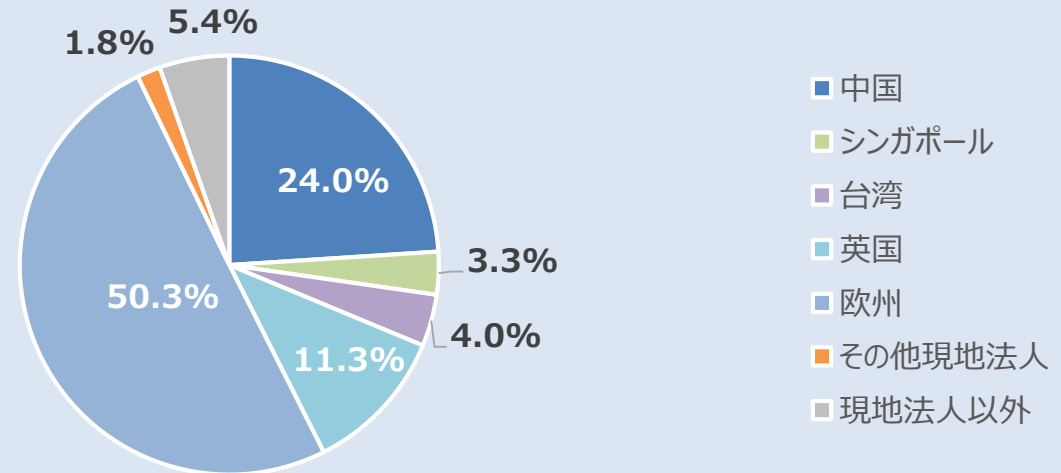
[億円]

海外売上高推移



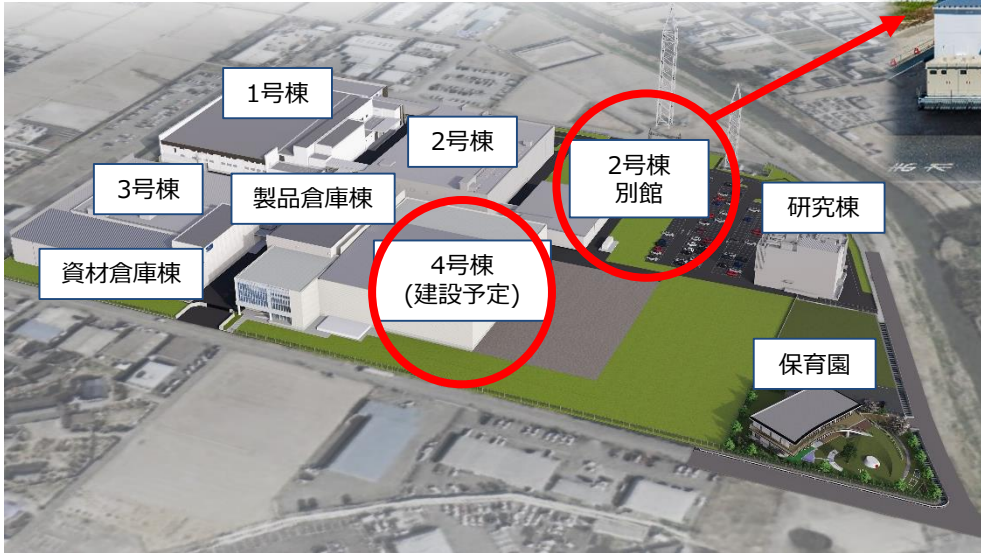
※現地法人売上 + 当社から現地代理店への卸売合計

海外売上高構成比 (2024/3期)



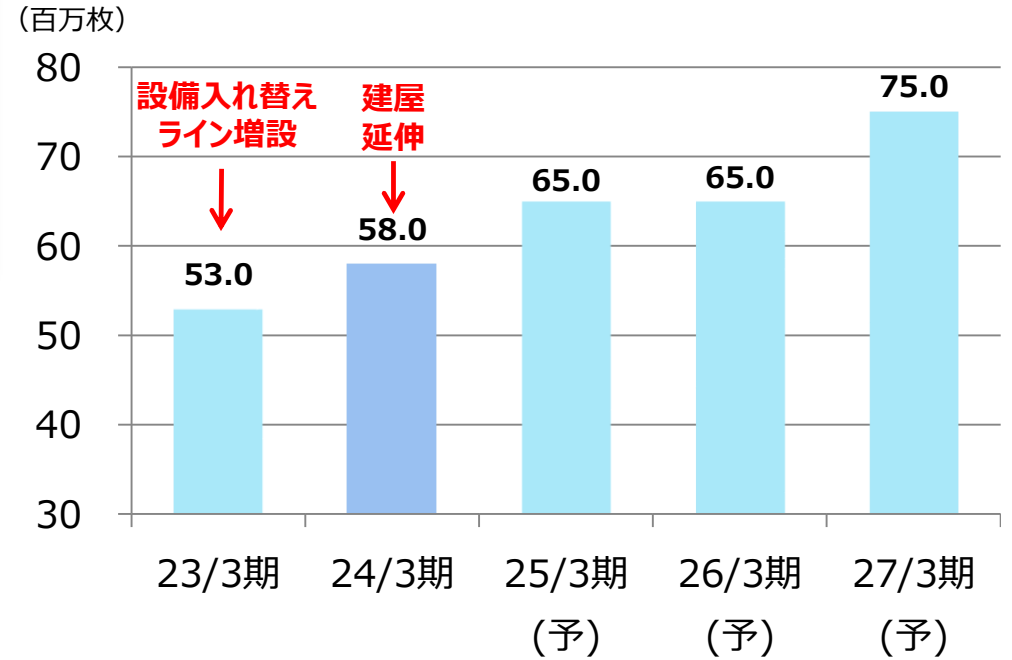
1. 2024年3月期 決算概要
- 2. 2024年3月期 トピックス**
3. 2025年3月期 見通し
4. 参考資料

＜鴻巣研究所全体の鳥瞰図＞



2号棟別館
2024年4月30日に竣工

＜月間製造能力推移（使い捨てコンタクトレンズ）＞



※1 開発用ライン含む使い捨てコンタクトレンズ相当生産数

時期	計画内容(製造工場・製造設備)	最大生産枚数/月 ※1
2024年3月期	1号棟 設備の入れ替え 3号棟 ラインの増設	5,300万枚→5,800万枚
2025年3月期	2号棟 別館	5,800万枚→6,500万枚(予定)
2027年3月期	4号棟 第一期	6,500万枚→7,500万枚(予定)



“なりたいたわしを選べる”カラーコンタクトレンズ「ベルミー」

新イメージキャラクターに女優の福原遥さんを起用しました。

「ベルミー」の新キャッチコピーは「わたしっぽくて、今っぽい。」キービジュアルでは大人っぽく上品さを感じながらも、ファッション性のあるカラーコンタクトレンズブランドを表現しています。

酸素がめぐる、上質な時間。高酸素透過性シリコンハイドロゲルレンズ^{*1} 「シード AirGrade 2week UV W-Moisture」新発売

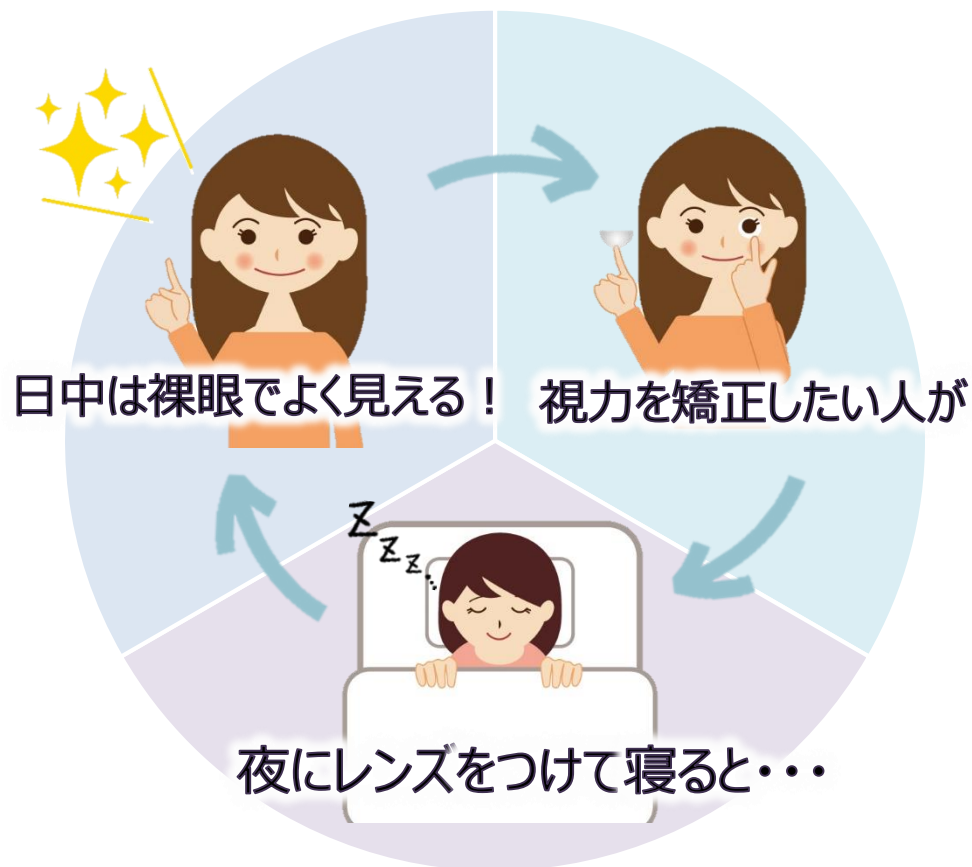
近年、2週間交換ソフトコンタクトレンズ市場においてシリコンハイドロゲル素材の需要が年々高まっていることから、この度「シード AirGrade」シリーズとして新たに当商品をラインアップいたしました。



*1従来のハイドロゲル素材に酸素をより多く通すことが可能なシリコン成分を配合したコンタクトレンズ

寝ている間に視力矯正ができる
オルソケラトロジーレンズ

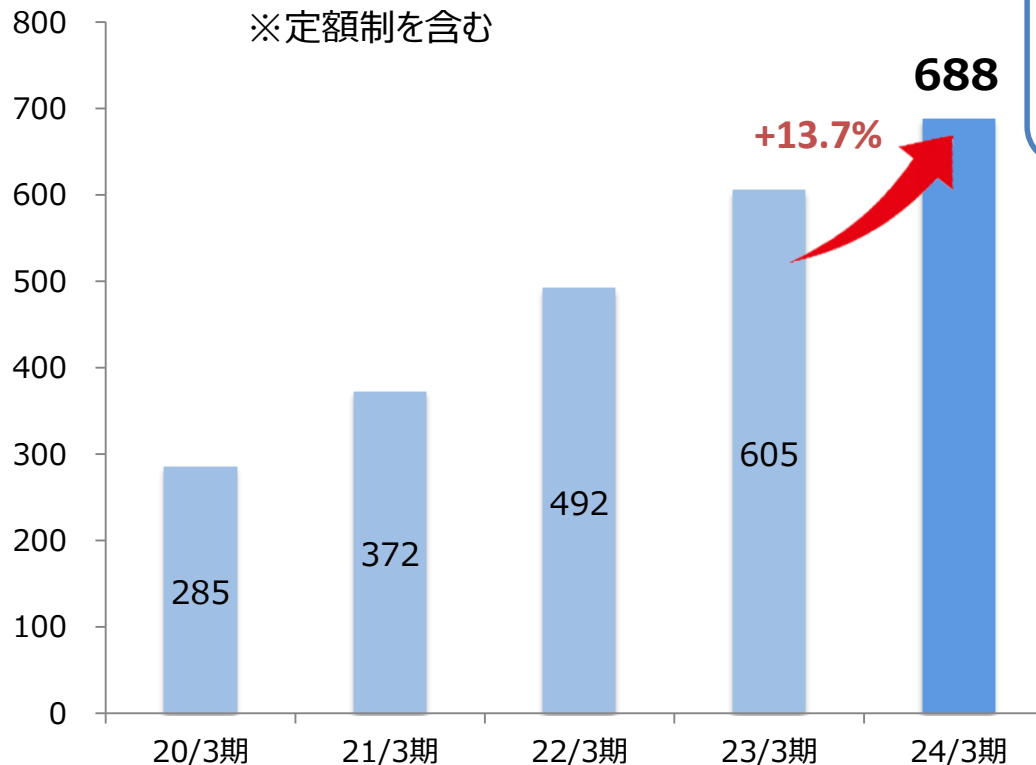
寝る時にレンズを装用することで、角膜形状を変化させ、外した後も裸眼で過ごすことができる治療法。



[百万円]
百万円未満切捨て

オルソケラトロジーレンズ売上

※定額制を含む



国内での
マーケットシェア率
50%以上

国内外の状況

日本、東南アジア、香港、インド / 欧州 (Wöhlk社製品を販売) 販売中



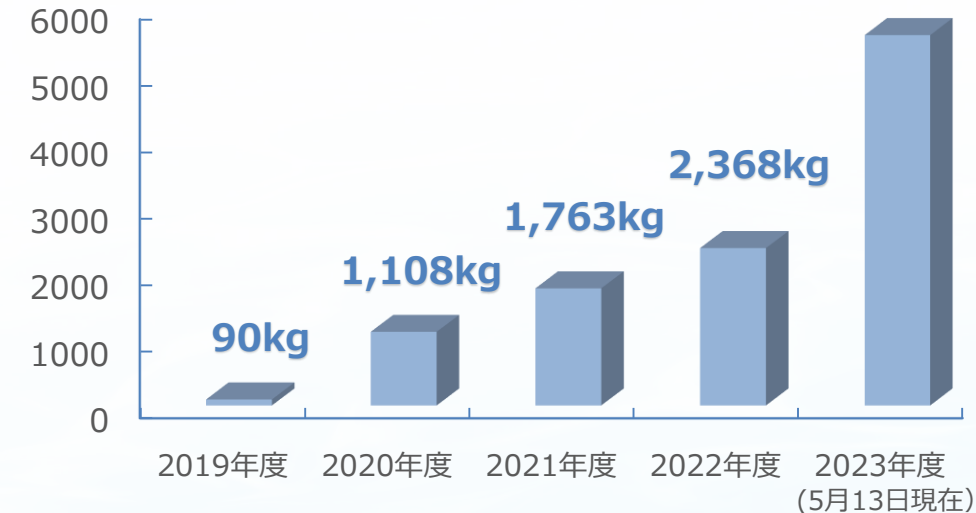
BLUE SEED PROJECT ~海に愛 (Eye) を~



▶▶使い捨てのコンタクトレンズのプリスターを回収し、資源としてリサイクルをするプロジェクト

(4月22日現在)

回収量(kg)



施設名	施設数
眼科・販売店 (関連子会社を含む)	1,072施設
企業	47社
学校	9校
行政	3市町村

お客さまにお持ちいただいたプリスターはリサイクル事業者へ販売し、需要が高まっている物流のプラスチックパレットに生まれ変わります。(サーキュラエコノミーの実現)

また、リサイクル事業者へ販売し得た収益は、海の保全活動をしている団体へ寄付を行っております。

今後の成長に向けた取り組み

Personalization

お客さま一人ひとりに合わせた製品の開発
次の量産商品化へ向けて準備中(乱視遠近)



シリコンハイドロゲル

シリコンハイドロゲルレンズの開発



遠近両用



乱視用



スマホ眼用

テクニカルレンズの開発

近視進行抑制

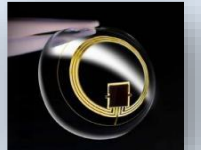
近視進行抑制の効果を確認するため、国内でシード1dayPure EDOF、オルソケラトロジーレンズを用いての治験開始。国内外の大学が臨床研究等を実施中

シリコンハイドロゲルコンタクトレンズの開発

次世代の高酸素透過レンズ開発・治験届申請中

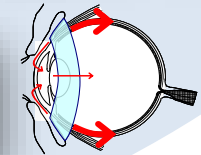
スマートコンタクトレンズの開発

トリガーフィッシュに続く新たなデバイスを内蔵したスマートコンタクトレンズの開発
革新的情報通信技術(Beyond 5G(6G))のNICT事業に採択



DDSコンタクトレンズ

DDS(薬物送達システム)コンタクトレンズの第2層の治験が終了し、第3層の治験に向けて準備中



次世代商品の開発

プライム市場上場維持基準への適合について

当社は2024年5月13日公表のとおり、2024年3月31日時点においてプライム市場の上場維持基準のすべてに適合いたしました。

		株主数	流通株式数	流通株式 時価総額	流通株式比率	1日平均 売買代金
当社の適合状況 及び その推移	2021年6月30日時点 ※1	17,146人	104,318単位	81.4億円	41.6%	0.45億円
	2022年12月31日時点※2	－	－	－	－	0.16億円
	2023年3月31日時点※3	24,971人	106,571単位	57.0億円	42.5%	－
	2023年12月31日時点※4	－	－	－	－	0.36億円
	2024年3月31日時点※5	25,833人	155,150単位	115.0億円	51.2%	－
プライム市場 上場維持基準		800人以上	20,000単位	100億円	35%	0.2億円
直近の基準日時点での適合状況		適合	適合	適合	適合	適合

※ 1 東京証券取引所が2021年6月30日時点で把握している当社の株券等の分布状況をもとに算定を行ったものです。

※ 2 東京証券取引所が基準日時点で把握している売買代金です。

※ 3 東京証券取引所が2023年3月31日時点で把握している当社の株券等の分布状況をもとに算定を行ったものです。

※ 4 東京証券取引所が基準日時点で把握している売買代金です。

※ 5 東京証券取引所が2024年3月31日時点で把握している当社の株券等の分布状況をもとに算定を行ったものです

1. 2024年3月期 決算概要
2. 2024年3月期 トピックス
- 3. 2025年3月期 見通し**
4. 参考資料

連結

[百万円]
百万円未満切捨て

	2024年3月期	2025年3月期見通し	＜参考＞ 前期比較	
			増減額	増減率
売上高	32,396	36,000	+3,604	+11.1%
営業利益	2,050	2,200	+149	+7.3%
(営業利益率)	6.3%	6.1%		—
経常利益	2,059	2,100	+40	+2.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,964	1,400	△564	—

- 「シード1dayPureシリーズ」を中心としてシリコンハイドロゲルレンズや遠近両用コンタクトレンズ等の高付加価値商品の拡販に注力

- 生産枚数を増加、逼迫した在庫状況を改善し、さらなる原価率の低減を行う

※2025年3月期において、留保金課税対象外企業であることは2024年3月期と同様であります
現段階においてその他の税制上の付加的な適用は想定しておりません

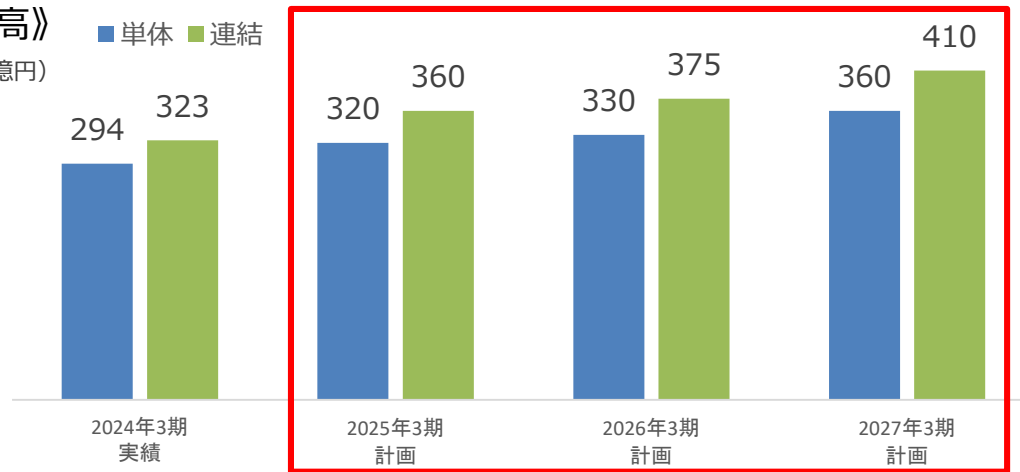
【中期経営計画の位置付け】

- 連結売上高500億円を達成し、世界のコンタクトレンズ市場でプレゼンスを発揮するための生産基盤の確保
(売上・業容拡大の足枷となっている商品供給力の不足を補うため、積極的な設備投資を行い、世界に伍する生産能力の整備を行う)
- 省人化生産を実現し、競争力を維持できる生産体制の構築
- 更なる品質の向上をすすめ、安心安全を追求
- コーポレートブランドの再構築による企業価値の向上
- 環境経営の推進
- 人的資源の強化を通じた事業基盤の整備

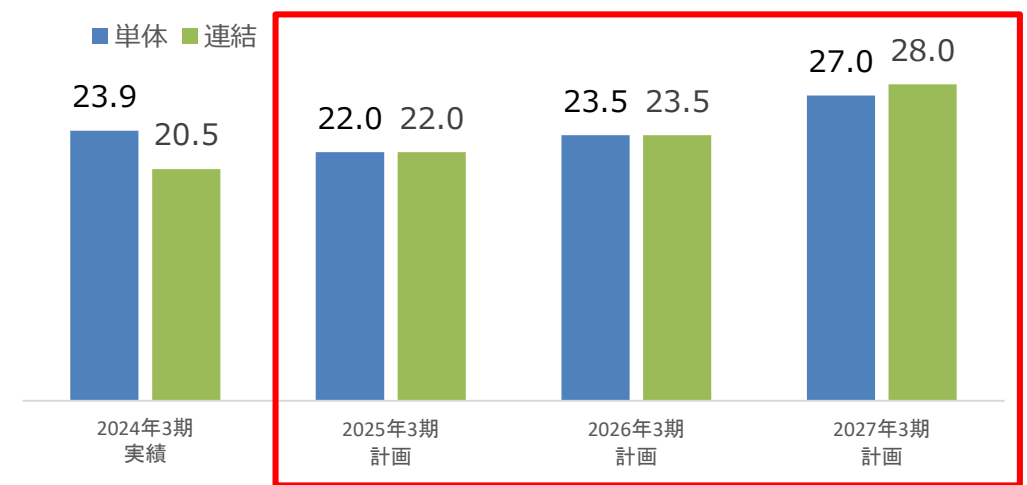
生産力を抜本的に改善する3年間となっており、大幅な収益改善は4号棟完成(2027年3月期)以降となります。2号棟別館の稼動や歩留まりの着実な改善等による生産力のアップにて収益力の改善にとどまりますが、将来の成長に対するコストをこの期間にかけることにより、中長期的な当社の成長へと繋がります。

中期経営計画(2024年4月～2027年3月)財務目標

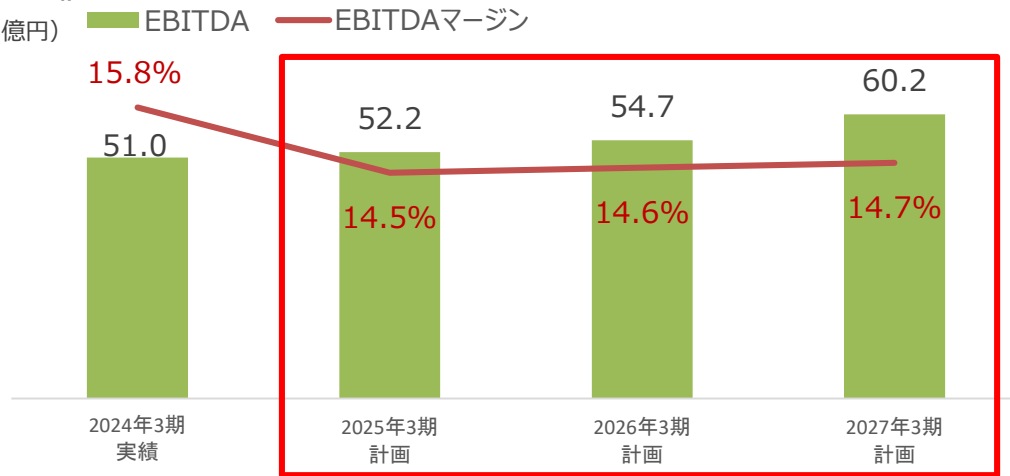
《売上高》
(単位：億円)



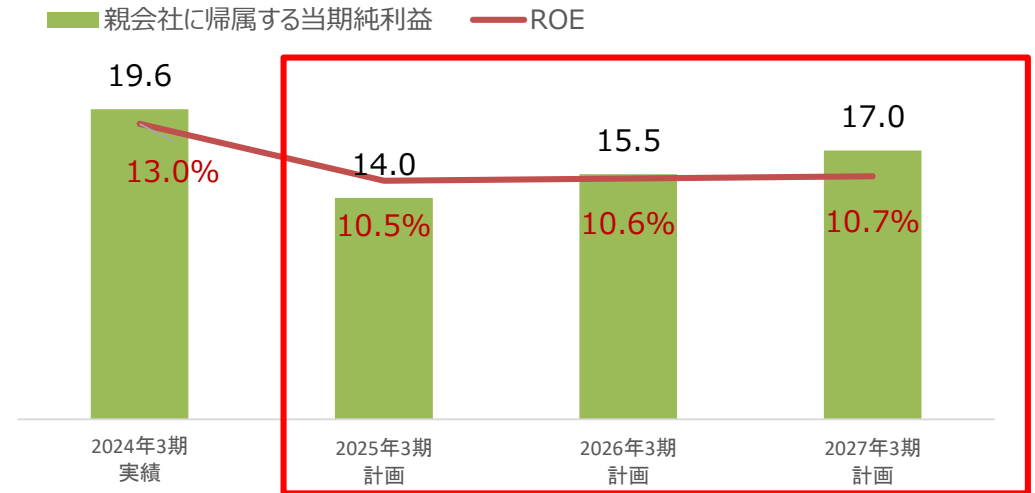
《営業利益》
(単位：億円)



《EBITDA》
(単位：億円)

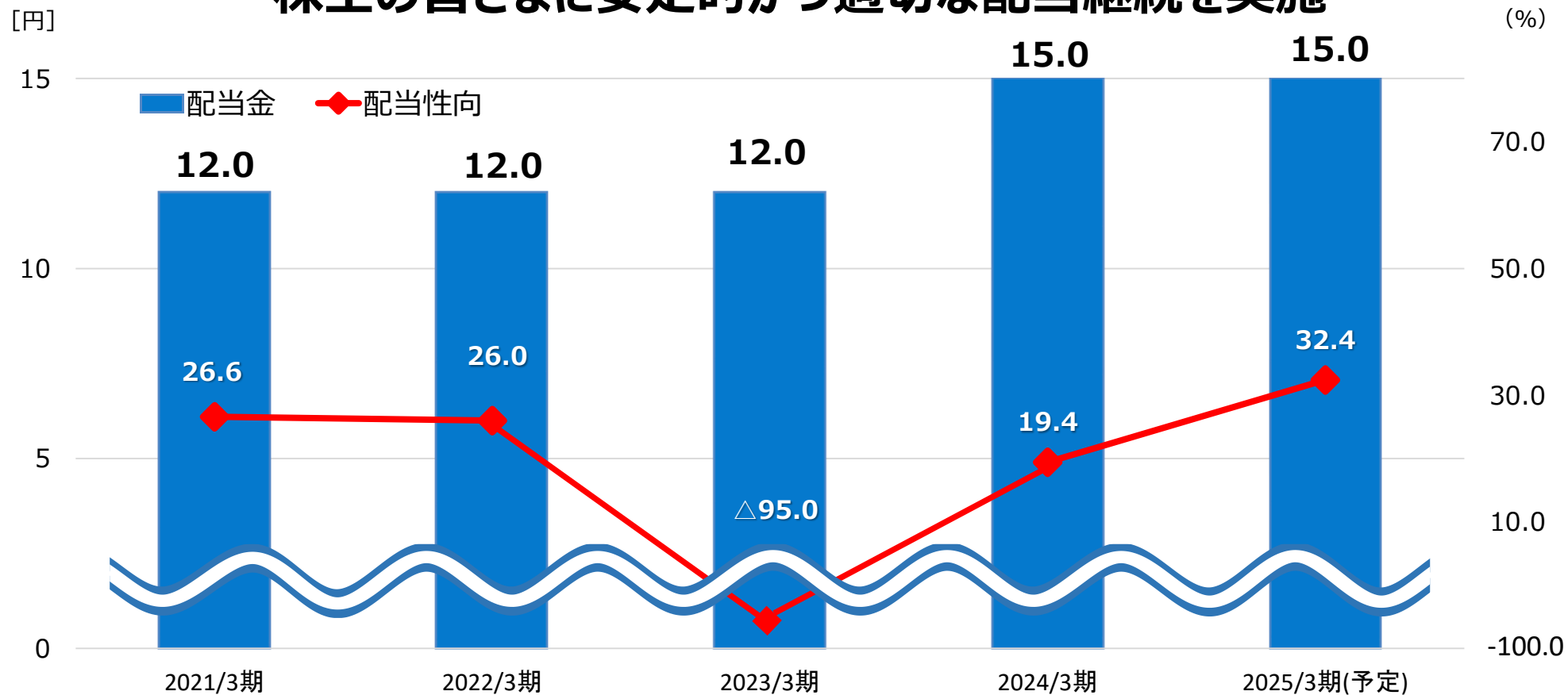


《ROE》
(単位：%)



- 2027年3月期は連結売上高 410億円とし、連結売上高 500億円を達成するための足場固めを行う
- 利益構造の改善を継続し、営業利益ベースでの増益を継続する
- キャッシュ創出力を強化し、EBITDA 60億円を目指す
- 利益効率を高め、ROE 10.7% (2027年3月期) を目指す

株主の皆さまに安定的かつ適切な配当継続を実施



※当社は、2018年7月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。

今後の成長戦略と、株主への安定的な利益還元を
継続していくこと等を総合的に勘案

1株あたり年間配当金額
1株につき **15円**

配当利回り：2.3%

※2024年3月29日 株価(終値)663円

1. 2024年3月期 決算概要
2. 2024年3月期 トピックス
3. 2025年3月期 見通し
- 4. 参考資料**



本社	東京都千代田区神田錦町 2-11 三洋安田ビル
設立	1957年10月9日（昭和32年）
上場	1989年12月（平成元年12月）
証券コード	7743 東京証券取引所プライム市場
資本金	3,532百万円
従業員	1,337名（連結） ※2024年3月末現在、アルバイト・契約社員を含む
営業所	8（札幌・東京・名古屋・大阪・福岡 他）、その他駐在11（盛岡・静岡 他） ※2024年3月末現在
工場・研究所	研究所：シード鴻巣研究所（埼玉県鴻巣市）

- 沿革
- 1957年10月 会社設立 商号「(株)東京コンタクトレンズ研究所」
- 1985年11月 ブランド名をマイコンから「シード（SEED）」に変更
- 1987年2月 商号変更「(株)シード」
- 1989年12月 社団法人日本証券業協会に株式の店頭登録
- 2007年7月 鴻巣研究所を竣工
- 2011年1月 鴻巣研究所 ISO13485取得、CEマーキング指令適合
- 2014年3月 東京証券取引所市場第二部に市場変更
- 2014年8月 鴻巣研究所2号棟竣工
- 2016年6月 研究棟竣工
- 2017年3月 東京証券取引所市場第一部に指定
- 2017年9月 鴻巣研究所3号棟竣工
- 2018年4月 保育・児童施設 ふくろうの森 開園
- 2020年11月 鴻巣研究所 製品・資材倉庫棟 新設
- 2021年5月 株式会社ユニバーサルビュー合併
- 2022年4月 東京証券取引所プライム市場へ移行
- 2022年10月 おかげさまで創立65周年



「東京コンタクトレンズ研究所」
当時の社屋



鴻巣研究所



保育・児童施設 ふくろうの森



創立65周年

コンタクトレンズ事業

1day・2weekからハードコンタクトレンズまで、広範囲の製品展開で細分化するニーズにきめ細かく対応しています

■ 国産 シードPureシリーズ



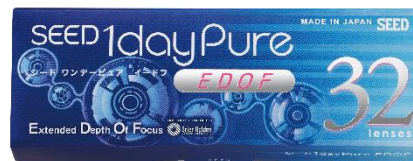
シード1dayPure
うるおいプラス



シード2weekPure
うるおいプラス



シード1dayPure
View Support



シード1dayPure
EDOF

乱視用



シード1dayPure
うるおいプラス乱視用

乱視用



シード2weekPure
うるおいプラス乱視用

遠近両用



シード1dayPure
マルチステージ

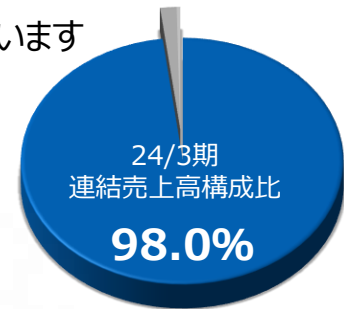
遠近両用



シード2weekPure
マルチステージ

スマホ眼用

遠近両用



Made in Nippon



■ 特殊レンズ



シード虹彩付ソフト
シードBi-Expert
ユーソフト

■ 従来型コンタクトレンズ



ハードコンタクトレンズ
全6種7品



ソフトコンタクトレンズ
全3種

■ オルソケラトロジーレンズ



ブレスオーコレクト

■ シリコンハイドロゲルレンズ

シリコンハイドロゲル



シード1daySilfa

■ サークルレンズ



シード Eye coffret 1day UV M

スマホ眼用



シード Eye coffret 1day UV M View Support

乱視用



シード Eye coffret 1day UV M TORIC



ヒロインメイク 1day UV M

■ カラーレンズ



ベルミー

■ 使い捨てコンタクトレンズ

シリコンハイドロゲル



シード AirGrade 1day UV W-Moisture

NEW

シリコンハイドロゲル



シード AirGrade 2week UV W-Moisture

■ シードFineシリーズ



シード1dayFine UV plus



シード2weekFine UV plus



シード2weekFine UV plus TORIC



シードMonthlyFine UV plus

コンタクトレンズケア用品事業

コンタクトレンズを快適にお使いいただくためのケア用品を各種提供しています。



コレクトクリーン
オルソケラトロジーレンズ（プレスオーコレクト）
他・酸素透過性ハードコンタクトレンズ用 タンパク洗浄液



フオレストリーフ うるおいW
ソフトコンタクトレンズ用
洗浄・保存・すすぎ液



ピュアティモイスト
酸素透過性ハードコンタクトレンズ用
酵素洗浄保存液



ジェルクリンW
酸素透過性ハード・
ソフトコンタクトレンズ用洗浄液

1.6%

24/3期
連結売上高構成比

多様な人材の確保

■ 働きやすい職場づくり

- ・企業主導型保育園の開園
- ・在宅勤務
- ・フレックス制の導入
- ・時短勤務等の導入
- ・男性育休制度の推進

■ ダイバーシティ化

- ・外国籍社員雇用
- ・越境在宅勤務制度の採用

■ 障がい者雇用の推進

「障害者就労施設プレミアムパートナー企業」として認定
10月23日埼玉県知事公館において認定証受領



災害対策

■ 自然災害、人災損害による被害の極少化への取組み

- ・BCPの恒常的な推進
 - ・物流拠点の分散化
 - ・災害初動対応マニュアル・事業継続活動マニュアルの作成
 - ・災害時における安否確認システムの導入
 - ・各事業所や全社用車への防災備品設置
 - ・企業主導型保育園との防災連携
- * 東京都一斉帰宅抑制推進企業に認定

～目頃から気をつけたい災害対策～



■ 「eyex防災」の啓発

- ・自然災害に対する事前の備えとして、日頃から気をつけておきたい眼の防災に関する啓発を実施

地域・社会の課題解決に向けた取り組み

■ 行政との連携

- ・埼玉県鴻巣市包括協定締結(2018年3月)
- ▶ ブリスター回収活動における覚書締結(2024年4月)
- ・「BLUE SEED PROJECT」協定書締結
 - ▶ 埼玉県三芳町(2023年5月)
 - ▶ 埼玉県吉見町(2024年1月)



■ スポーツを通じた子供のサポート

- ・埼玉西武ライオンズと協力し、「SEED Presents スタートینگキッズ」の企画協賛

■ 出前授業の実施

- ・教育機関(小・中・高・大学他)への出前授業
 - ▶ 当社リサイクル素材を使用した万華鏡の作成
 - ▶ すごろくを通してSDGsを学ぶ
 - ▶ コンタクトレンズと目の不思議について



■ 積極的な地域活動への参加

- ・地域イベントへの積極的な参加
- ・子供向け工場見学、理科実験教室開催

環境



■ 環境マネジメントシステムの構築

- ・カーボンニュートラル推進
- ・プラスチックリサイクル推進

■ 本社建設資金についてグリーンローンフレームワーク設定

■ エネルギー利用環境負荷低減事業適応計画の認定取得

太陽光発電、エネルギー管理システム構築、水資源の再利用

■ 「シード1dayPureうるおいプラス96枚パック」 パッケージリニューアル

※2024年5月頃より順次出荷開始予定

包装資材使用量の大幅カットで温室効果ガス排出量を削減

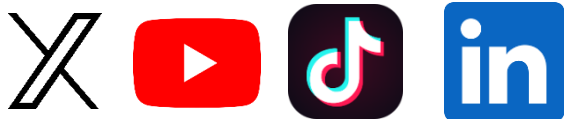
■ サーキュラーエコノミーシステムの構築

- ・BLUE SEED PROJECTによるブリスター回収・再資源化
- * 日本政策投資銀行「DBJ環境格付」取得
- * 令和3年度 彩の国埼玉環境大賞を受賞

SNS

シード公式

- ・TVCM
- ・製品説明動画
- ・決算説明会、株主総会、IRイベント
- ・IR動画
- ・CSR活動（理科実験教室）
- ・イベントの告知



【商品アカウント】

シード1dayPure View Support



シード Eye coffret 1day UV M



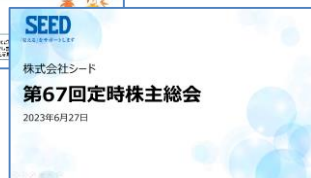
ベルミー



当社HP



決算説明会・株主総会資料



中期経営計画説明会資料



IRレポート



統合報告書

その他

企業と個人株主・投資家をつなぐ



2022年6月20日（月）より、個人株主・投資家向けサービス「Sharebee」にてIRに関する情報・重要連絡をHPのIRサイトの掲載に加えて配信しております。

<https://sharebee.jp/>



国内子会社

*株式会社シードアイサービス

横浜近視予防研究所株式会社

海外子会社

*上海実瞳光学科技有限公司 (中国)

上海実瞳商務咨询有限公司 (中国)

*上海実瞳健康科技有限公司 (中国)

上海実瞳視光医療科技有限公司 (中国)

*香港実瞳健康科技有限公司 (香港)

*台湾實瞳股份有限公司 (台湾)

*SEED CONTACTLENS ASIA PTE.LTD.
(シンガポール)

SEED CONTACT LENS (M)SDN.BHD
(マレーシア)

SEED CONTACT LENS VIET NAM CO, LTD.
(ベトナム)

*SEED Contact Lens Europe GmbH
(ドイツ)

*Wöhlk Contactlinsen GmbH
(ドイツ)

*Sensimed SA
(スイス)

*Contact Lens Precision Laboratories Ltd.
(イギリス)

*Ultravision international Ltd.
(イギリス)

※2024年3月現在

* : 連結子会社

SEED

「見える」をサポートします

本資料に関するお問い合わせ

株式会社シード 経営企画部

TEL 03-3813-1650

またはホームページお問い合わせフォーム

<https://www.seed.co.jp/contact/>

当資料の見込みに関しては、現時点において入手可能な情報及び当社の計画・戦略に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の経済情勢・業界動向等、様々な要因により異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

本資料の見通しや目標数値等に全面的に依存しての投資判断により生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。